



今月の主な内容

平成19年度施政方針演述…2～5
米田小128年の歴史に幕…6～7
われら軽高健児……………8～9
小軽米中に文科大臣表彰……………10～11

128年の歴史に幕を閉じた米田小学校の閉校式。18人の最後の児童は、堂々とした立派な態度でお別れのことばを披露しました。「進め進め進め進め、米田校」。校歌の最後に綴られた言葉は、未来に向かって進む「米田っ子」への応援歌として子どもたちの心につまでも残り続けることでしょう。(写真は、3月25日に行われた米田小閉校式でステージ発表する児童たち。関連記事は6～7ページに掲載)

協働・参画の基本方針を策定し 町民総参加の町づくりを推進

町議会三月定例会が、三月二日から十二日まで開かれました。平成十九年度一般会計当初予算をはじめ平成十九年度の町政の進むべき方向性について、山本賢一町長が行った施政方針演説と、佐藤三四五町教育委員長が行った町教育行政方針演説の概要についてお知らせします。



11日間にわたり審議が行われた町議会平成19年3月定例会

住民に身近な行政として 対応できる地方自治を確立

日本経済、世界経済ともに持続的な経済成長が見込まれる一方で、町村を取り巻く環境は、過疎化、少子高齢化の進行に加え、景気回復を実感できない極めて厳しい状況に

あり、都市との地域間格差の拡大が懸念される状況にあり
ます。

国では、財政の健全化と、地方財政の抑制への取り組みが進められておりますが、国、

地方ともかつて経験したこと
の無い厳しい財政状況にあつて、住民の負託に応え、活力に満ちた豊かな地域社会を実現するためには、住民に身近な行政として、地域ニーズに的確に対応したサービス展開ができる地方自治と分権社会の構築が重要であります。

この真の地方自治を確立す
るためには、安定的な財政運営に必要な一般財源の確保が不可欠です。国においては、人口と面積を算定基礎とする
新型交付税の導入が進められておりますが、本町のような財政規模の小さな町村にとつて、財政運営に支障をきたすことのないよう強く求めて参ります。

実、「人材育成と教育の充実」、「行財政改革の推進」の五項目を主な公約に掲げ、地方交付税の削減など町の財政状況が依然厳しい状況にあつて、町民とともに汗を流し活力と持続性のある町づくりを訴えて参りました。

厳しい財政状況にあつても 最小の経費で最大の効果を

町は、基金残高の減少や經常収支比率の上昇など厳しい財政運営の中で自立した行政

運営を展開するため、第三次軽米町行政改革大綱を定め、行政経費の節減と効率的な行政運営に取り組んできたところであります。

これまで、「農林業の活性化」、「商工業の活性化」、「少子高齢化対策と社会福祉の充

協働・参画の町づくり 基本方針を策定し取り組む

かつてない厳しい財政状況の中で、しかも過疎化、少子高齢化の進行する中にあつて、中途段階の施策もありますが、町民の皆さまからのご意見を謙虚に受け止めなが

ら、創意と工夫を凝らし、活力ある町づくりに懸命に取り組んで参ります。
町民の皆さまと行政が町づくりについて共に議論し、果たすべき役割を担いながら町



平成19年度の町の施政方針を述べる山本町長

平成19年度の主要施策（施政方針演説から抜粋）

■安全で快適な町づくり

- 【道路】 町道の整備（松ノ脇下向線・軽小通り線・民田山線の各道路改良舗装工事、蓮台野橋大町線歩道整備工事、参勤街道線舗装修繕工事）
- 【公共土木施設災害復旧】 平成十八年十月の大雨災害による道路、河川などの災害復旧事業
- 【町営住宅】 下向川原住宅団地の建設
- 【公共下水道】 第二期認可区域の下水道処理区域の拡大（門前、萩田、下新町地区の本管・枝線の管路布設工事）
- 【上水道】 簡易水道施設の事業統合計画の策定
- 【環境衛生】 ごみの分別・リサイクル促進によるごみの減量化、廃棄物の適正処理
- 【消防防災】 軽米町地域防災計画の見直し、消防団組織の強化充実、防火・防災訓練など町民の危機管理意識の高揚

■健康で安心して暮らせる町づくり

- 【国民健康保険事業】 出産育児一時金の給付と受領委任払い制度の実施、医療機関と連携した健診・保健指導など健康づくり事業の展開、国民健康保険税収率の向上と国保事業の健全な運営
- 【後期高齢者医療制度】 後期高齢者医療制度の共同事務処理への対応
- 【保健事業】 基本健診や人間ドック受診率の向上（夕方健診・休日健診の実施）、健康相談や健康教育活動の強化、県

立軽米病院と連携した「夜の健康教室」や人間ドック事業などの実施、安心して出産し子育てができる相談体制の充実、乳児検診・予防接種・各種教室への支援、学校と連携した地域ぐるみの食育指導、六十五歳以上の高齢者や中学生以下の児童・生徒らに対するインフルエンザ予防接種の一部助成（中学生以下への助成額の増加）

- 【地域包括支援センター】 保健・介護・福祉の一体となった介護予防と高齢者の自立支援の強化
- 【介護保険事業】 健康ふれあいセンター、特別養護老人ホームいちい荘での介護技術とサービスの向上、施設介護サービスへの充実
- 【福祉事業】 委託実施している生きがい活動支援通所事業の充実、高齢者及び障害者にやさしい住まいづくり事業など在宅介護の支援、一人暮らし老人宅への緊急通報体制の整備
- 【障害福祉】 カシオペア連邦障害者団体連絡協議会と連携した障害者の自立と社会参加の支援、障害者就労支援センターと連携した障害者の就労支援、就労が困難な場合の社会との交流の場の提供などを行う地域活動支援センターの設置と充実
- 【地域子育て支援】 軽米保育園への地域子育て支援センターの設置、児童クラブへの支援

■働きがいのある産業の展開する町づくり

- 【災害復旧事業】 農地・農業用施設被災箇所等の早期復旧
- 【農業振興】 品目横断的経営安定対策に対応できる認定農業者など担い手の育成・確保、水稲の本田無化学肥料栽培による食の安全・安心システムの確立と消費者の視点に立った安全な農畜産物の供給、「産地づくり対策」の転作物としての飼料用米の栽培
- 【園芸振興】 「カシオペア園芸産地確立サポートセンター」の構築とエコファーマーへの誘導・技術指導、雨よけほうれん草の団地化推進、ネギなどの野菜栽培の規模拡大、リンドウとスプレイギクの生産拡大、葉たばこの機械化作業体系の整備
- 【畜産振興】 町家畜貸付事業による繁殖雌牛の貸し付け、受精卵移植を活用した優良雌牛の生産、地域内一貫生産体



住民と行政の協働事業として取り組まれる道づくり作業

総合発展計画後期計画の具現化に向けて協働し、活力ある町づくりを推進していくための基本的な事項を盛り込んだ「協働・参画の町づくり基本方針」を定め、今後の町づくりの指針として参ります。

一般会計は前年度比3%減の総額53億1千2百万円で編成

国において歳出改革路線を強化し、平成十九年度一般会計総額は、前年度比四・〇

%増、財政投融资計画は五・六%減となっております。

一方の地方財政は、一般財源の総額を確保することを基本に地方財政計画の規模は前年と同額、地方一般歳出は一・二%減となったところであり

ますが、地方交付税は前年度比四・四割減となり、小規模で自主財源の乏しい本町では町税の伸びに対して地方譲与税や地方交付税の減額が大き

く、非常に厳しい財政状況になっております。十九年度の予算編成にあたっては、歳入では自主財源の確保に努める一方で、歳出では総人件費の削減・抑制、事務事業の見直しなど、歳入の減少に見合う歳出の抑制を基本とした健全財政への取り組み

を強化しながら、豊かで安心して生活できる魅力ある地域づくりの実現のため、身近な社会資本の整備、地域福祉の向上、学校教育環境の充実及び産業振興施策の展開を基本に予算編成に取り組んだところであります。

なお、予算編成時期が町長選挙と重なったことに加え、県知事選挙などを控えた県予算がいわゆる骨格予算となつたことから、町としても義務的経費、經常経費、継続事業を主に計上した骨格予算としたところであり、政策的経費については、六月定例会に提案させていただくとしたところであり

平成十九年度一般会計当初予算総額は、前年度当初予算比三・〇%減額の五十三億二千二百万円としたところであり、四億円を超える財源不足が生じたところであります。基金の取り崩しにより調整したところであり、今後も効率的な予算の執行とともに、限られた財源の重点的・効率的な配分と行政改革への一層の取り組みが重要であると考えております。



本田無科学肥料栽培への取り組みなど、安全で安心な食の生産地を目指した産業振興を図ります

生涯学習社会の構築と健全な青少年、豊かな人間性を育成

全国的には、受験競争の過熱化による未履修問題、いじめや不登校の深刻化、青少年非行の凶悪化などの問題が生じる一方で、心の豊かさや生きがいを求め主体的な学習意欲が高まってきています。

平成十九年度は、町民が生涯にわたって主体的に、継続的に学習できる生涯学習社会の構築と、郷土や社会の発展に貢献できる健全な青少年の育成、変動社会に主体的に対

応できる人間性豊かな町民の育成を町教育の基本方針に据え取り組んで参ります。

学力向上を目指し いじめには早期に対応

学校教育の充実については、児童・生徒の「基礎基本の定着と学力の向上」を目指し、授業日数と時数の確保、授業の充実と指導方法の改善、学習習熟度別指導の研究と学習定着度調査の目標値アップに努め、教職員の資質向上と研修の充実、情報公開と学校評議員制度による開かれた学校を推進して参ります。

いじめ問題への早期対応を一層強化し、学校・家庭・教育委員会が密接な連携を取りながら、いじめのない学校づくりに努めるほか、スクールガードをはじめ地域・団体と連携した児童生徒の安全対策を一層強化します。校舎の維持補修、小中学校



町教育行政方針演述を行った佐藤三四五町教育委員長

へ専属の英語指導助手の配置や情報教育環境の整備、キャリア・スタートウィーク事業による職場体験学習にも取り組んで参ります。

学校統合については、本年四月には米田小学校と小軽米小学校が統合するほか、小玉川小学校も二十年四月に統合が決定しております。十九年度も順次、教育懇談会を開催し統合の調整を図るほか、「仮称・晴山小学校」の早期建設にも努力して参ります。

これまで六年間にわたる中高一貫教育の実績を検証し、生徒指導・進路指導の充実と、

制推進のための集団管理施設「キャトルセンター」の建設に向けた取り組み

【中山間地域等直接支払制度】集落協定を締結した町内六十三地区の集落活動支援

【農地・水・環境保全向上対策事業】町内十一地区での地域ぐるみでの農地・水・環境の良好な保全と質的向上を図る共同活動や先進的営農活動への取り組み

【農業生産基盤の整備】下河内地区の事業着手と、皂角子久保地区の事業採択への要望、県営事業である軽米・九戸地区広域農道整備事業と観音林地区農免農道整備事業の早期完成要望、中山間地域総合整備事業（大清水地区）の早期着手要望

【林業・木炭の振興】森林保育事業による優良材の生産と森林の適正管理、林業生産基盤整備事業（林道館ヶ沢線）、森林整備地域活動支援交付金事業による山林の持つ多面的・公益的機能の向上、日本一の生産量と品質を誇る「軽米木炭」のPR、消費者ニーズを捕らえた商品開発と市場開拓、グリーンデーや林業振興祭の開催による緑化意識の高揚

【商工業の振興】町商工団体への助成による商工業の活性化、町の制度融資の斡旋・利子補給事業

【中心商店街の活性化】物産交流館を核としたイベントの開催と中心商店街の賑わい創出

【観光の振興】広域観光組織への参画による観光客の誘客、町観光協会を通じたイベント（軽米秋まつり、森と水とチューリップフェスティバル）への支援、雪谷川ダムフオリストパーク・軽米のかぶと虫ランドの実施

【地場産業の振興】姉妹町音更町との物産交流、町産業まつりの開催、地場産品の販路拡大事業への助成、各種物産展への町内業者の参加による本町物産のPR

【個性を生かした創造性にあふれた町づくり】「生涯学習の推進」「アイあい講座」「生涯学習フェスティバル」の開催など町民が主体の生涯学習の推進、社会人講師派遣事業の幼児・高校生への拡大実施

【教育環境の整備】仮称「晴山小学校」建設への取り組み、複式学級及び極小規模校の解消のため教育委員会の方針

を踏まえた学校統合の推進

【共に創る町づくり】協働参画の町づくり基本方針の策定、町政モニター会議や地域懇談会などの開催、小型除雪機の地域への貸し出し、花いっぱい運動の展開

【個人情報保護・情報公開】町個人情報保護条例に基づいた厳格で適切な取り扱い、町情報公開条例の適切な運用

【情報化の推進】インターネットの高速回線（ADSLサーブिस）実現への継続的な取り組み、町ホームページや広報紙への広告掲載、地上デジタル放送・移动通信電話・ブロードバンド化への計画的な対応

生徒の個性の伸長と学力向上を提供して参ります。芸術文化の振興については、青少年劇場の開催や郷土芸能保存会、文化協会への支援・育成に努め、町内遺跡の発掘調査の成果について展示機会を設けていきたいと考えております。図書館の充実を図りながら、子どもの読書活動も推進して参ります。

生涯スポーツの推進については、住民総参加型スポーツイベント「チャレンジャー」とハートフル・スポーツランドなど施設利用を積極的に進め、すべての町民が何らかのスポーツ活動に参加できるように取り組むとともに、体育指導員の資質向上、スポーツ少年団や町体育協会への支援も行って参ります。

昭和六十二年四月に「生涯学習の町」を宣言して以来、「町づくりは、地域づくりであり、人づくりである」を基本理念に生涯学習活動を推進して参りました。十九年度においても町民の手による生涯学習フェスティバルの開催など町民の主体的な町づくりへの参画と学習活動の促進に努めます。

青少年の健全育成については、地域や関係団体と連携した教育振興運動を展開するほか、放課後子ども教室事業を導入し「安全で安心な居場所」



世代を越え生涯学習・スポーツに触れる機会の創造を

今年も参加します” チャレンジデー 2007”

開催日時は5月30日(水) 0時～21時

参加率を競い合う対戦相手が おがのまち 埼玉県 小鹿野町 に決定!



小鹿野町
人口：14,573人
世帯数：4,826世帯
面積：171.45㎡

埼玉県西北部の秩父山岳地帯の中央部に位置し、面積の8割が急峻な地形となっている。平成17年10月に両神村と合併し新小鹿野町となりました。

全国で90団体が参加

チャレンジデーは、毎年5月の最終水曜日の午前0時から午後9時までの間に、15分以上継続して、運動やスポーツなどを行った住民の参加率を競い合う住民総参加型スポーツイベントです。

平成19年(2007年)は5月30日に、全国で90の自治体・地域が参加して開催されます。



昨年開催された室内スポーツ大会の様子

(例えば)

- ◎通勤・通学を徒歩で行った
- ◎犬の散歩をいつもより時間をかけて、距離も長く行った
- ◎家の掃除をいつもより長く、丁寧にやった

参加報告を忘れずに

15分以上継続して運動を行った方は、参加したことを必ず報告してください。受け付けは、役場内の集計センターで、当日の午後9時30分まで行っています。電話またはファクシミリなどで、忘れずに報告してください。

住民参加率60%で 小鹿野町から勝利を

住民参加率に応じて、主催者からメダルが贈呈されます。(本町の人口規模で、参加率55%以上が金、31%～54%が銀、31%未満が銅) 昨年の本町の参加率は57.7%(6,686人)でした。今回はこれを上回る60%と小鹿野町への勝利をめざします。皆様でご参加ください!



相手は小鹿野町に決定

参加率を競い合う対戦相手には、抽選の結果、小鹿野町(埼玉県)に決定しました。同町はチャレンジデーに2回目の参加となります。

参加資格はあるの?

開催日当日に、軽米町内にいる方であれば誰でも参加できます。年齢、性別、住所などは問いません。町内に通勤・通学している方、観光客なども参加できます。

何をすれば参加になるの

15分以上継続して、運動やスポーツなどの身体活動を行えば参加となります。
☆とにかく体を動かせばOKです

【お問い合わせ先】チャレンジデー軽米町実行委員会
(町教育委員会事務局・生涯学習グループ TEL 46-4744)

在校生や卒業生、地区民など約二百五十人が集まり米田小最後の校歌を斉唱しました



一人ひとりの思いを未来と夢に託して

米田小128年の歴史に幕

米田小学校(佐々木政文校長、児童十八人)三月末現在)の閉校式が三月二十五日、児童や地区民、学校関係者など約二百人が出席して行われました。明治十一年に薊内小学校として創立以来、百二十八年にわたる歴史を振り返った出席者は、閉校を惜しみながら、未来への夢と希望を胸に託していました。

閉校を惜しむ言葉

閉校式でのあいさつで佐々木校長は「米田小はこれで閉校となりますが、児童の皆さんは小軽米小学校と一緒に生きていくことも、米田の地域に貢献できるたくましい子どもに育ってほしい。米田の財産を無くすることなく、先人の歴史を後世に伝えていってください。」と児童に呼びかけました。在校生によるお別れのこぼれでは、最後の卒業となった六年生も参加し、この一年を振り返りながら、呼びかけ

色鮮やかな記念碑

式典の後、閉校記念碑の除幕式が、児童の手によって行われました。記念碑は、御影石に校章と校舎の絵が色鮮やかに



卒業生の山本彩未さん(小軽米中三年)が閉校への思いを発表しました

と歌を披露。慣れ親しんだ校舎との別れを惜しみました。

かに刻まれ、創立百周年記念で建立された記念碑に隣接して設置されています。児童の手によって幕が引き払われると、大きな拍手が沸き起こりました。

米田の未来を託して

引き続き開催された思い出を語る会には、地区民のほか歴代校長やPTA役員なども参加して、それぞれの思い出を語り合いました。

閉校記念事業委員会会長の松浦求さん(蜂ヶ塚)は「地区民の心よりどころでもあが贈呈されました。薊内小学校として創立以来、千四百八十二人の卒業生を送り出した米田小学校は、平成十九年四月一日に小軽米小学校と統合し、新たな一歩を歩み始めています。

米田小閉校の一年 スナップアルバム



夢と希望に向かって 突き進め！ 行け行け われら軽高健児

平成18年度の県立軽米高校卒業生進路状況

◆進学状況（延べ合格者数）◆

	国公立大	私大	短大	専門学校	
				医療系	その他
男子	10人	4人	2人	2人	11人
女子	6人	2人	13人	10人	16人
合計	16人	6人	15人	12人	27人

◆就職状況◆

◀内定者の就職先内訳▶

	希望者数	内定者数	内定率	二戸管内			
				管内	県内(二戸除く)	八戸管内	県外(八戸除く)
男子	23人	23人	100%	8人	2人	2人	11人
女子	20人	19人	95%	9人	2人	-	8人
合計	43人	42人	98%	17人	4人	2人	19人

生活安全の森

二戸警察署軽米駐在所

春の地域安全運動

4月6日(金)～15日(日)

★子どもの安全対策を強化

全国的に、下校途中の小学生が誘拐され殺害される事件が発生しています。岩手県内でも、誘拐事件に発展するおそれのある「声かけ事案」が発生しています。

岩手県警察・二戸警察署では、子どもたちの安全を守るために、地域の皆さんと連携し、子どもの安全対策に全力をあげています。

地域の皆さんからの情報提供などのご協力をお願いします。



へびぐちあやか
蛇口 彩佳さん(上円子)
株式会社アストリア(東京都)

3年間いろいろな人たちに出会って、自分にとってとてもいい刺激になり、成長することができました。わたしが就職できたのは先生方のおかげです。本当にありがとうございました。これから社会に出ます。正直不安ですが、早く仕事に慣れて、精一杯頑張っていきます。

なかの ひろゆき
中野 啓之さん(下河南)
弘前大学人文学部(青森県)

高校での一番の思い出は、部活動の野球で甲子園という大きな夢に向かって、仲間とともにつらい練習をしてきたことです。毎日がたいへんで、結果が出ずに悩んだ時期もありましたが、苦勞してきた分、やってきて良かったと満足しています。これからの大学生活に不安はありますが、これまでの生活で学んだことを生かしていきたいです。最後にお世話になった両親、柴田先生、福士先生、田村先生、尾形先生、本当にありがとうございました。



うちざわ みき
内澤 三季さん(岩崎)
株式会社アスターホテル紫苑(盛岡市)

高校生活はあっという間で、たくさんの友だちや先生方と過ごした楽しかった3年間はしっかりと心に残っています。これから社会に出る不安はありますが、まずは早く仕事に慣れるよう精一杯頑張ります。



きみなりた たかおみ
君成田 隆臣さん(門前)
弘前大学医学部(青森県)

こうして志望校に合格できたのも、担任の尾形先生をはじめ応援してくださった先生方、そして家族の支えがあったからです。友だちにも恵まれ、楽しく充実した高校生活を送ることができました。皆さんに本当に感謝しています。弘前大学では、将来の目標である診療放射線技師になるため一生懸命勉強し、必ず国家試験に合格したいと思います。さまざまな人と交流を深め人間的にも成長していきたいです。



町内の駐在所が新体制に

3月の異動で各駐在所には、次の職員が配置になりました。

◎軽米駐在所(46-2004)

新 佐々木光春 警部補
玉山 賢 巡査部長

新 前沢 功 巡査部長

◎晴山駐在所(47-2110)

新 山下幸博 巡査長

◎小軽米駐在所(45-2110)

青木清人 巡査長

よろしくをお願いします。

2月の事故と救急の数字

※見直しにより前月の数値と異なる場合があります
※(累計)は1月からの合計

▶町内の交通事故

	当月(累計)	昨年比
人身事故	0件(1件)	-3
死亡者	0人(0人)	±0
負傷者	0人(1人)	-4
物損事故	8件(24件)	-3

▶救急車の出動回数

26回(59回) +5

▶飲酒運転検挙者はありません

やまだて
山舘 さくらさん(小玉川)
岩手大学人文社会科学部(盛岡市)

3年経つのは本当にあっという間でしたが、思い出はたくさんできました。中でも1週間のアメリカ滞在では、とても貴重な体験をさせていただきました。わたしが岩手大学に合格できたのは、先生方や家族、友だちなど多くの人たちのサポートがあったからです。その人々への感謝の気持ちを忘れずに、4年間の大学生活で自分をさらに高めていきたいと思っています。



ほそや ちいたる
細谷地 格さん(高柳)
岩手県警察(岩手県)

3年間の高校生活は、たくさんの友人、素晴らしい先生方に恵まれ楽しく過ごすことができました。わたしが警察官になれたことができたのも友人や先生方、両親のおかげです。本当にありがとうございました。これからは世のため人のために精一杯頑張りたいです。



あかばね りか
赤羽 里佳さん(新井田)
盛岡大学短期大学部(盛岡市)

たくさんの友だち、すばらしい先生方に出会って、卓球も勉強も頑張ることができました。とても充実した3年間を過ごすことができたと思います。これから新しい生活の中で、たいへんなことがたくさんあるとは思いますが、自分の夢に向かって頑張ります。

たなか ゆうと
田中 雄翔さん(桜山)
株式会社マルテー大塚(東京都)

野球部では、挨拶、礼儀、人に対しての思いやりを学ぶことができました。それに、結果よりも過程のほうが大切だということも改めて思いました。柴田先生、田村先生、福士先生、3年間本当にお世話になりました。先生方のおかげでわたしは変わることができました。出会いは財産だと思います。軽米高校の生徒で本当に良かったです。本当にありがとうございました。



かみやま ゆきえ
神山 幸恵さん(仲軽米)
県立二戸高等看護学院(二戸市)

高校生活は部活動が中心で、楽しかったことも辛かったこともわたしにとって大切な思い出です。先生や友だち、先輩や後輩など多くの人に支えてもらいとても感謝しています。本当にありがとうございました。この感謝の気持ちを忘れずに、これからも頑張っていきます。



たけばやしけんた
竹林 健太さん(門前)
株式会社十文字
チキンカンパニー(二戸市)

高校での3年間はとても充実し、部活や友人とふざけた楽しい思い出が心に残っています。高校を卒業し、就職することに不安はありますが、わたしのことを支援してくださった方々や、これから就職の道を歩む後輩たちのため、そしてわたし自身のためにも仕事を精一杯頑張ります。



小軽米中が文部科学大臣表彰

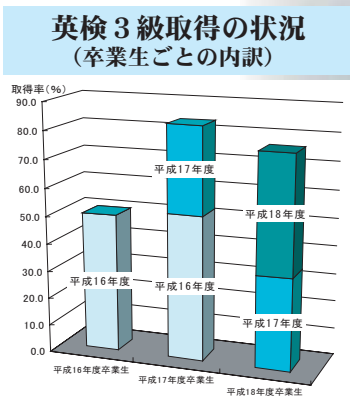
三者一体の英語力向上への取り組み

全国一万九百二十一校のうち四校、そして県内中学校では初となる、英語教育優良学校の平成十八年度文部科学大臣表彰を、小軽米中学校(田村滋校長、生徒五十一人)が受賞し、三月三日に東京都内で伝達式が行われました。

同校は、平成十六年度から三年間にわたり、県教育委員会の「英語大好きジュニアハイスクール」の指定校として、英検の全校受検と合格率の向上や、外国人留学生との交流活動を行ってきました。特に平成十七年度の英検(二級)の合格率は、県内平均(約十八%)を大きく上回る八十三%を達成。十六年度は五十%、十八年度は七十六%と、飛躍的に向上してきました。

指定校としての取り組みとともに、留学生のホームステイ受け入れや英検の受験費用の負担など、PTAや地域からの協力もありました。

英語授業は通常のとおり行



岩手大への留学生と英語を通じた交流を行っています



固定資産評価審査委員に 畑山 勲さんを再任

3月2日の町議会定例会で、固定資産評価審査委員に畑山勲さん(下晴山、65歳)を再任することに同意しました。任期は平成19年3月13日から平成22年3月12日まで。平成16年3月から固定資産評価審査委員を務められています。

地球温暖化防止への活動を広めよう

小軽米小に県知事表彰



地球温暖化防ごう隊として省エネ活動に取り組んだ小軽米小児童と藤田校長(中央)

小軽米小学校(藤田博範校長、児童六十三人)の四年生から六年生(当時)の児童が、地球温暖化防ごう隊として省エネ活動に取り組んだ小軽米小児童と藤田校長(中央)から六年生(当時)の児童が、

地球温暖化防ごう隊として取り組んだ省エネルギー活動に対して、岩手県知事表彰が贈られました。

児童は、昨年十二月の二週間にわたって、各家庭で誰もいない部屋の電気をこまめに消したり、シヤワーを出しっぱなしにしないなどの取り組みを行い、チェックシートに記入。目標への達成度を報告しました。

藤田校長は「省エネ生活が二酸化炭素排出を減らし、地球温暖化防止に繋がれることを認識し、自分たちができることを実行することが大切。これをきっかけに子どもたちも家庭で継続して取り組んでほしいし、学校でも環境への取り組みを行っていききたい」と話していました。

同校では、ほかに牛乳紙パックの回収や、EM(有用微生物群)活性水をプール清掃へ活用するなど、環境保全の取り組みを進めています。

町消防団長に 増尾 俊一 さんを再任



町消防団長に増尾俊一さん(下増子内、六十三歳)が引き続き任命され、四月二日に山本賢一町長から辞令の交付が行われました。任期は、平成十九年四月一日から三年間です。安全と安心の町づくりに向け、町消防団を指揮します。

【増尾さんの略歴】
職業は農業。昭和43年に町消防団に入団。その後、本部長、副団長を歴任し、平成16年4月に団長に就任。今回引き続き団長に任命されました。

長年にわたる消防団活動などの消防功労者に贈られる岩手県定例表彰の平成十八年度表彰式が三月十六日に行われ、町消防団員など十六人(延べ八十八人)が表彰されました。

盛岡市の岩手県民会館で開催された式典には、表彰受章者九人が出席し、表彰状と記念品を受けました。受章された方は、下記のとおりです。



表彰式に出席し賞状の伝達を受けた受章者の皆さん

- ### 平成18年度消防表彰受章者 (敬称略)
- ★消防庁長官表彰
 - 【永年勤続功労章】 分団長・細谷地義昭
 - ★日本消防協会会長表彰
 - 【功績章】 副団長・西館勇
 - 【精積章】 分団長・竹林朝雄、同・苺敷山菊夫
 - 【勤続章】 分団長・日向日出男、団員・坂本武道、同・荒川政志
 - ★岩手県知事表彰
 - 【功績章】 副分団長・梅木信夫、同・内澤信治、
 - 同・細谷地多門、同・浅水孝多郎
 - ★岩手県消防協会総裁・会長表彰
 - 【功労章】 分団長・日向日出男
 - 【功績章】 分団長・島澤徳行、副分団長・梅木信夫、部長・小野寺徹
 - 【内助功労者感謝状】 小野寺幸子(分団長令夫人)、小野寺正子(分団長令夫人)
 - 【優良婦人消防協力隊員】 町婦人消防協力隊連絡協議会副会長・井戸淵トシエ

消防関係者16人が受章

平成18年度岩手県定例表彰式

自家味噌の仕込みに追われる春



味噌の仕上がりを左右する米麴を丁寧に手でほぐすことから始まった味噌づくり教室

昔ながらの自家製の味が楽しめる味噌づくり教室が二月二十五日から全三回にわたり、円子地区の大黒醤油株式会社（坂本剛社長）で行われ、計百五十組あまりが参加しました。蒸した大豆を潰し、米麴と塩、水とを混ぜる作業に参加者は、足で踏みついたり体重を乗せたりと熱中していました。町内をはじめ青森県八戸地域からの常連客も多い人気ぶり、坂本社長は「軽米へ足を運ぶきっかけになれば」と継続的に開催していくこととしています。

エゴマ特産品化への第一歩

生活習慣病の予防など健康食として注目されているエゴマの搾油施設が完成した旧軽米町農協円子支所で三月三日、生産者などが集まり落成式が行われました。軽米エゴマの会（川原木賢一会長、会員二十四人）が、県と町の補助を受けて整備。川原木会長は「連作障害と遊休農地の解消に、今注目のエゴマの栽培を進めていきたい。健康食材としてまず自分たちの食事に取り入れ、徐々に販売にもつなげていきたい」と特産品化へ意欲を燃やしています。



エゴマの原穀から油が精製される工程を見学する参加者の皆さん

【商品の問い合わせ先】北いわて農協軽米営農センター（四六一二八二一）

親子で楽しめる読み聞かせ会

町青少年健全育成町民会議（鶴岡義雄会長）主催のDVDを使った絵本の読み聞かせ教室が、三月十八日と二十四日に軽米保育園などで開催され、二十組の親子などが参加しました。幼児期から本に接し、親子でも楽しめる機会を設けようと企画。原作絵本の雰囲気そのままのゆっくりと動く映像と音声が流れる絵本のDVDを上映。子どもたちと一緒に目で見て耳でも楽しめる内容に、普段は読み手のお母さんたちも興味を持って楽しんでいました。



絵本のDVDを大画面映像で楽しんだり、大きな絵本の読み聞かせを楽しみました

お隣八戸でPRキャンペーン

軽米町観光と物産キャンペーン（町観光協会主催）が三月二十四日と二十五日、イトーヨーカ堂八戸沼館店（ピアドゥ）で行われました。町内業者による出店や、木炭やさるなし商品などの展示販売が行われたほか、チューリップ苗や串餅の無料配布などで町の観光と物産をPR。山本町長が「八戸市と隣り合わせの軽米町には、見所やおいしいものがたくさんある。ぜひお越しください」と春の観光シーズンに向け、誘客を呼びかけました。



山本町長も配布を行ったチューリップ苗の無料配布には長蛇の列ができました

お楽しみ広場に笑顔集まる



おばあちゃんと一緒に杵を持ち上げ、餅つきを楽しんだりしました

世代を越えた交流を図るちびっ子ふれあい広場が三月十日、町老人福祉センターで開かれました。町内の老人クラブや民生児童委員などが中心となって、ワラ細工や餅つき、お手玉遊びや毛糸人形づくりコーナーなどを開設。お餅や、炊き出し訓練として茹であがったジャガイモなどが振る舞われたほか、訪れた子どもたちは、おじいちゃんおばあちゃんと一緒に実際に体験したり、作業を覗き込んだりしながら、時間を忘れ楽しんでいました。

外国のお嫁さんを地区で歓迎

外国からのお嫁さんを歓迎し、結婚を祝う会が三月三十一日、宮沢公民館（宮川栄吉館長）に地区民約三十五人が集まって開催されました。招待されたのは同地区の宮本清志さんと、フィリピン出身のフランシスさん夫妻。初めての日本で安心して暮らせるようにと地域をあげて企画。主催者の宮川館長は「遠く離れた日本にお嫁さんに来てくれてみんな歓迎している。早く軽米での生活に慣れるようお手伝いしたい」と地域をあげて歓迎していました。



地域をあげたお祝い会でお祝いの花束などを受け取る宮本夫妻（左からフランシスさん、清志さん）

丈夫に育つ 元気に働く 健やかに老いる
地域包括支援センター設置から早1年
～750件の相談がありました～



健康福祉課主任看護師 内城 良子

平成18年4月から、全国の市町村に高齢者の生活を支えるための地域包括支援センターが設置されました。町では、健康ふれあいセンター内に設置され、はや一年になります。

地域包括支援センターでは、元気うちから介護予防に取り組むことによって、介護保険サービス利用や施設入所しないで、住み慣れたわが家で元気に老後を送れるような支援に取り組んでいます。例えば、地域で積極的に取り組めるように介護予防教室を開催し、高齢者のふれあいの場を立ち上げたり、認知症・うつ予防などの支援事業を行っています。そのほか、総合的な相談窓口として、介護・医療・福祉・健康に関する相談行い、さまざまな制度や社会資源などの連携づくりにも取り組んでいます。

介護についての相談や介護予防教室の開催など、お気軽にご相談ください。

昭和60年10月31日姉妹提携

音更町だより

2月20日、音更・土幌・上土幌3町の森林組合が、合併に向けた予備契約の調印式を行いました。合併後は、正組合員数800人以上、森林面積16,000ヘクタール以上と北海道で3番目に大きい規模の森林組合となります。



調印後、力強く握手を交わす三組合長

プロフィール
 【氏名】 Shawn MacDonald (ショーン・マクドナルド)
 【国籍】 カナダ
 【生年月日】 1982年6月9日生 24歳
 【略歴】 ゲルフ大学卒。2006年8月3日から町の英語指導助手。趣味はスキー。



ツヨクツヨクおもしろ日記

Angela: Hello Shawn, what are you doing with those carrots?
 アンジェラ：こんにちはショーン、そんなにニンジンを集めて何してんの？
 Shawn: I'm leaving them out for the Easter Bunny!
 ショーン：イースターのウサギのため外に出して置くんた。
 Angela: Isn't Easter a few days off still?
 アンジェラ：イースターには少し早いんじゃない？
 Shawn: I suppose so, but the Easter Bunny can never have too many carrots! Besides, I want to make sure the Easter Bunny pds my house.
 ショーン：そうだけど、イースターのウサギにとってニンジンはいくらあっても多すぎることはないから。それに、まちがいなくぼくの家に来れるようにしておきたいんだ。
 Angela: Well, sorry to break it to you, but you're more likely to find rabbit road-kill here than the Easter Bunny. He doesn't come to Japan.
 アンジェラ：夢を壊すようで悪いけど、ここ日本ではイースターのウサギより交通事故で死んだウサギの方が見つけやすいわよ。イースターのウサギは日本には来ないって。
 Shawn: Does that mean no Easter egg hunt this year?
 ショーン：じゃ、今年はイースターの卵探しはできないってこと？
 Angela: I'm afraid so. Now, what are you going to do with all those carrots?
 アンジェラ：恐らくね。で、こんなにたくさんのニンジンはどうするの？
 Shawn: I'm going to find that road-kill you were talking about and make some stew! A rabbit will visit this house one way or another!
 ショーン：じゃあ、交通事故にあったウサギを探してシチューを作るって。イースターのウサギはどうにかしてこの家に来るさ。
 Suddenly, Mr Umeki walks by....
 そこに急に梅木さんが現れる....
 Mr. Umeki: Who is this Easter Bunny you're talking about?
 梅木：そのイースター・バニーって誰なの？
 Shawn: http://www.ukinfo.jp/culture/easter1.php
 ショーン：(このアドレスにアクセスして見れば分かりますうけど・・・)

笑顔あつまれ！ みんなの広場

我が家の人気者
 すこやかさん



こばやし そうた
 小林 颯太くん (2歳10カ月)
 愛称：そう
 (下増子内) 幸治さん・玉美さんの長男

パパのDNAをしつかりと受け継いだ颯太くんは、大の重好き。右手にはスニーカーを、左手にはバトカーを持って大はしゃぎしています。その手で「おくべくかっ」とお姉ちゃんの頭を「パシッ」。元氣百倍のバトカーの始まりです。

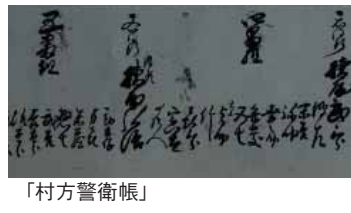
古くもんじよ
 軽米の歴史
 78
 五人組

前回五人組という名称が出た。五人組とは、近所の隣り合う五軒が組をつくり、お互いに助け合い、親戚同様に親しくするとともに、組の中での取り決め、公儀や藩の法律に背かないように相互監視の役割ももった。五人組の名簿で五人組帳をつくり、各家が何の宗教でどここの寺の檀家であるかを調

べ、組合の代表を組頭とし、五人組帳に印判を押した。組の責任者であり印判を押す役割から組頭を判頭とも言う。禁制のキリシタン、日蓮宗の不受不施派の者の有無も組頭の報告する義務があった。

五人組の定目には、最初に父母への孝養、主人への尊敬、近隣への親しみなどが書かれ、その次に守るべき法律が書かれている。その書かれている項目は村方によって違いがあるが、年貢の皆済の五人組の責任、火の用心、捨て子・捨て馬の禁止、衣類は木綿の着用、家のつくりは質素に、他出のときは名主への届け出、身分の分らない者の宿泊の禁止、身持ちの悪い者の監視、もし五人組のうち事件を起こす者が一人でもあれば五人組の連帯責任とされた。農業に励み、五人組が助け合い、村を通行中に病気になる者は保護させ住所を尋ねそこへ送り届ける家などが書かれている。良いことも悪いことも五人組・村方の責任であった。

(町古文書解説)



夢・希望・えんぴつ

■夢・希望・えんぴつ■
 昨年の文化祭から生徒会長を引き継いだわたしの肩に、先輩方が努力し築き上げてきた軽中の伝統が重くのしかかってくる。学校へ向かう足取りも日々重く、「本当にわたしは仕事を全うできるのだろうか」と不安がよぎりました。そんな暗い気持ちの中、小学生の時に通っていたミニバスの練習に顔を出してみました。練習の始めから最後まで楽しそうにプレーをしている小学生の姿から、わたしは「これだ!!」と今まで忘れていたものに気づかれました。「わたしもあの頃はこんななについた練習でも楽しんでできた。だから会長の仕



軽米中学校3年(上新町)
 たかはし ひでみ
 高橋 秀美

楽しむことの大切さ

事も大変な仕事ではあるけれど、おもいっきり楽しむべきだ。そう考えたら、自然と肩の荷も軽くなり、負担と感

た生徒会活動も楽しくなってきました。今わたしは「活気に満ちあふれる軽中に」を自分の心の目標とし、全力で生徒会活動に取り組んでいこうと思えます。そして、もう一つの新たな目標もできました。それは、悩んでいたわたしに光をくれたバスケットに対する恩返しです。今はまだ未熟で、人に教えるような技術や知識もありませんが、いつの日かコートの中に立ち、子どもたちに夢や希望を与えられるコーチになりたいと思います。

今月の雑穀献立



むかご入りあわご飯
 【材料】 4人分
 ・モチアワ…0.5カップ
 ・米……………1.5カップ
 ・むかご……………200g
 ・鶏肉……………120g
 ・しょう油……………大さじ3
 ・酒……………大さじ2
 ・水……………400cc
 ・塩……………少々

【作り方】
 ①むかごは洗って、ザルなどで水を切る
 ②アワと米を洗い、塩、酒、しょう油、鶏肉を混ぜ合わせる。むかごはその上に乗せて、
 ③炊き上がったたら、むかごを混ぜ合わせてできあがり

考案者の
 大館ミネさん
 (市野々)

今月の俳句

北光吟社 二月例会句会

除雪車の通りしあとのすべりやす
 永井きよの
 暖冬や防寒ヤッケ着る日なく
 端川石造
 日射し追ひ窓に咲いたるシクラメン
 千葉紅園
 白鳥の立つ兆し見え雪谷川
 川島由蔵
 画に佇てる心のゆとり春の午後
 古里裕子
 冬椿花も落花し潔よし
 三上千栄女
 目刺焼く夫の一人の夕餉かな
 中野とき
 風花や光を乗せて空より来
 国久黄実
 リハビリの我に白鳥飛び立てる
 沢沢鉄馬
 微用をのがれし鉤を吊る炉かな
 松村英子
 節分の面見では泣く孫二人
 早川慶子

お知らせ
情報
Information



3月20日に行われた米田小最後の卒業式



在校生のみんなも緊張した様子ながらも、大きな声で送り出し



背にした「輝く未来へさあ進め」の文字のとおり



最後の卒業生となった3人は、立派に思い出の学び舎を巣立ちました

倒木の放置は危険です
早急に撤去ください

1月下旬に降った湿気を多く含んだ大雪などによる倒木が、町内各地で多く見られます。特に道路沿いでは、交通の妨げになるばかりか事故に繋がることもあります。立木所有者の方は、所有する山林の維持管理を行い、倒木や倒れそうな木については、早急に撤去などの作業をお願いします。



【問】地域整備課 (☎46-4741)

労働保険料の申告
と納付はお早めに

労働保険料は、1年度分を概算で計算し納付することになっています。申告と納付の期限は、5月21日(月)です。最寄りの銀行または郵便局で、手続きは早めに済ませましょう。また平成19年4月1日から石綿健康被害者救済のための「一般拠出金」の申告・納付が始まります。この「一般拠出金」は、労働保険の年度更新に併せて申告・納付ください。【問い合わせ先】岩手労働局 (☎019-604-3003)

住宅改修の相談は
県登録の相談員に

高齢者が安心して住宅リフォームや建て替えの相談を行える

よう、県では講習会を受講した建築士を「岩手県高齢者向け住宅リフォーム相談員」として登録しています。登録相談員の名簿は、いつでも閲覧できますのでお気軽にご利用ください。▶相談員名簿の閲覧場所 市町村・県庁・振興局の福祉または建築担当窓口、在宅介護支援センター、市町村社会福祉協議会など 【問い合わせ先】県庁住宅建築課 (☎019-629-5932/H P http://www.pref.iwate.jp/~hp0608/)

看護を身近に感じて
5月12日は看護の日

5月12日は看護の日です。県と県看護協会では「看護の心をみんなの心に」をメインテーマに記念事業などを開催します。▶看護の日記念行事 ▷日時：5月13日(日)13時～ ▷会場：岩手県民会館 ▷内容：県立大アカペラサークル、記念講演、ロビー催事など ▶看護週間 ▷期間：5月6日(日)～12日(土) ▷内容：ふれあい看護体験 【問い合わせ先】社団法人岩手県看護協会 (☎019-662-8213)

AED心肺蘇生の
巡回講習会を開催

二戸管内市町村と二戸消防本部、二戸保健所では、AED(自動体外式除細動器)を用いた無料の救急講習会を下記のとおり

開催します。受講者には岩手県心肺蘇生法普及事業推進会議から修了証書が交付されます。動きやすい服装で参加ください。【問い合わせ先】二戸地方振興局・二戸保健所 (☎23-9206)

月日	時間	会場	定員
4月20日(金)	18:00~21:00	二戸市総合福祉センター	各20人
5月18日(金)		九戸村保健センター	
6月12日(火)	13:00~16:00	二戸地方振興局	
7月14日(土)		二戸市総合福祉センター	
8月10日(金)	18:00~21:00	二戸市ほほえみセンター	50人
9月7日(金)	13:00~16:00	一戸町総合保健福祉センター	20人
9月22日(土)		軽米町健康ふれあいセンター	

内科		休日当番医		歯科	
小原内科医院 (☎23-3410)	二戸市石切所	4月15日(日)	ムカイダ歯科クリニック (☎46-4636)	軽米町運台野	
藤田内科 (☎38-2772)	二戸市浄法寺	22日(日)	森川歯科医院 (☎23-6361)	二戸市堀野	
二戸クリニック (☎25-5770)	二戸市石切所	29日(日)	渡辺歯科医院 (☎23-2052)	二戸市堀野	
すがわら消化器内科 (☎23-2879)	二戸市福岡	30日(祝)	窪島歯科医院 (☎33-3050)	二戸市福岡	
金田一診療所 (☎27-2205)	二戸市金田一	5月3日(祝)	岩淵歯科医院 (☎32-2238)	一戸町一戸	
むらかみ医院いたみのクリニック (☎48-1500)	軽米町岩崎	4日(祝)	ますだ歯科クリニック (☎26-8282)	二戸市石切所	
よこもり眼科クリニック (☎22-2230)	二戸市堀野	5日(祝)	ほんだ歯科クリニック (☎23-9591)	二戸市石切所	
千葉耳鼻咽喉科・小児科 (☎23-2009)	二戸市福岡	6日(日)	こしみず歯科医院 (☎33-4618)	一戸町一戸	
小野寺クリニック (☎46-2822)	軽米町門前	13日(日)	ぼっぼ歯科クリニック (☎31-1182)	一戸町一戸	

平成19年度岩手県職員・警察官の採用試験日程表

試験名	第1次試験日	申込受付期間	
		インターネット	郵送・持参
I種試験	6月24日(日)	5月1日(火)～5月25日(金)	5月1日(火)～5月31日(木)
警察官A試験	7月8日(日)	5月1日(火)～5月25日(金)	5月1日(火)～5月31日(木)
II種・III種警察官B試験	9月23日(日)	8月1日(水)～8月25日(土)	8月1日(水)～8月31日(金)

【問い合わせ先】岩手県人事委員会事務局 (☎019-629-6241)

税の一口メモ

確定申告が間違っていたとき

確定申告書を提出した後で、計算の誤りなどに気づいたり提出を忘れていたりしませんか。申告内容に間違いがある場合には訂正する手続きがあるほか、忘れていた場合には申告書を速やかに提出する必要があります。

【問い合わせ先】二戸税務署 (☎23-2701)

次の手続きを行ってください。◎更正の請求…税額を多く申告した ◎修正申告…税額を少なく申告した ◎期限後申告…申告を忘れていた 詳しくは、国税庁ホームページ (http://www.nta.go.jp/)をご覧ください。

町税の納期限
(5月1日まで)

固定資産税1期
軽自動車税全期

早めに納付ください

戸籍の豆知識

戸籍の附票

戸籍には『附票』というものがあります。附票は、戸籍に記載されている家族全員にあり、一人ひとりの住所の履歴が書いてあります。結婚をすると夫婦の新しい附票を作ることになり

【問い合わせ先】役場・町民生活課 (☎46-4735)

ます。主に登記事務や車の名義変更などに使われます。いつの、どの住所のものが必要かを申し出てください。なお、本籍地のある役場でなければ交付できませんのでご注意ください。

図書館だより

— 今月の新刊 —

【児童書】

「はるかぜのホネホネさん」

作・絵：にしむらあつこ



ホネホネさんはゆうびん屋さん。春風によってギコギコキーン！ゆらゆら柳やスイレン池をめぐって、今日も元気に配達です。

「なまえをみてちょうだい」

作：あまきみこ
絵：西巻茅子

えっちゃん、お母さんに赤い帽子をもらいました。ある日強い風が吹いてきて…



【一般書】

「狼少年のパラドクス」

著：内田 樹



「学力低下は日本人全員が同罪、国民総6歳児の道を歩む」と訴える著者の日本人への提言。文部科学省訪問記ほかも収録。

「夢いっぱい！
昭和の食卓レシピ」

編：主婦の友社

昭和30、40年代の雑誌で紹介された数々のおかずを、当時携わった人たちのお話しとともに収録。あの日の懐かしい味がつまったレシピ集。



図書館ひろば

◎日時：4月28日(土) 10:00～11:00
◎会場：旧生活文化博物館(町立図書館となり)
◎対象：小学生、幼児
参加をお待ちしています！

4月 April

16	月	
17	火	ポリオ予防接種【病】 14:00~14:30受付
18	水	1歳6カ月児健診【ふ】 13:00~13:30受付 H17年8月~11月生まれ対象
19	木	あのなっす相談所【老】 10:00~15:00
20	金	
21	土	
22	日	【町議会議員選挙投票日】
23	月	
24	火	ポリオ予防接種【病】 14:00~14:30受付 二戸地区法律相談【二戸市役所】 10:00~15:00 (予約 ☎23-3111)
25	水	ピヨピヨ教室【ふ】 10:00~12:00
26	木	あのなっす相談所【老】 10:00~15:00
27	金	ポリオ予防接種【病】 14:00~14:30受付
28	土	図書館ひろば【旧生活文化博物館】 10:00~11:00 にこにこ広場【軽米保育園】 9:30~11:30
29	日	【昭和の日】 子ども会育成会ソフトボール大会【ハ】 森と水とチューリップフェスティバル【フ】~5月20日
30	月	【振替休日】



山火事防止運動月間(3月10日~5月31日)に合わせた町内パレードが4月1日、消防車両27台などが参加して行われました。赤色灯を回転させ、「火入れの際には消防署に連絡を」などと呼びかけながら町内を3つのコースに分かれて巡回。春の火災予防を訴えました。

13	日	森と水とチューリップフェスティバル・イベント開催日【フ】 林業振興まつり【フ】 「森と水とチューリップ」パークゴルフ大会【ハ】
14	月	
15	火	

冠婚葬祭 2月届出分 〈敬称略〉

5月 May

1	火	町税の納期(固定資産税1期、軽自動車税全期)
2	水	
3	木	【憲法記念日】 森と水とチューリップフェスティバル・イベント開催日【フ】 少年野球教室【ハ】(~4日) ハートフル杯中学校サッカー大会【ハ】
4	金	【みどりの日】
5	土	【こどもの日】 森と水とチューリップフェスティバル・イベント開催日【フ】
6	日	大勝杯高校ソフトテニス予選大会・男子【運】
7	月	
8	火	婦人健診【笹渡農業構造改善センター】 9:00~10:00受け付け 【屋敷自治公民館】 13:00~14:00受け付け 二戸地区法律相談【二戸市役所】 10:00~15:00 (予約 ☎23-3111)
9	水	乳児健診【ふ】 13:00~13:30受付 H18年6月、9月、12月、H19年2月生まれ対象 婦人健診【米田農業構造改善センター】 9:00~10:00受け付け 【小軽米生活改善センター】 13:00~14:00受け付け 全血献血【役場地域整備課車庫前】 10:00~、 【十文字キニテック】 12:00~、【ふ】 14:30~ ピヨピヨ教室【ふ】 10:00~12:00
10	木	婦人健診【環】 13:30~15:30、17:00~18:30受け付け 第1回寿大学【公】 10:00~12:00 あのなっす相談所【老】 10:00~15:00
11	金	婦人健診【ふ】 9:00~10:00受け付け 【円子生活改善センター】 13:00~14:00受け付け
12	土	大勝杯高校ソフトテニス予選大会・女子【運】 にこにこ広場【軽米保育園】 9:30~11:30

おめでた

なかの れい 玲 (亮)
門前 中野
おおさき り こ (佳智利)
上戸子 大崎 利心
つるがい れ な (孝俊)
鶴飼 鶴飼 怜菜
やました ふうが (勝大)
向川原 山下 颯牙

おくやみ

上野場 福田喜一郎 (75歳)
上 籾 小笠原八郎 (77歳)
仲軽米 佐藤ミチ (68歳)
上野場 平内美恵子 (59歳)
下河南 松田喜一郎 (79歳)
大町 高田マツノ (93歳)
貝喰 山中エス (80歳)
下戸子組 栃木ナカ (86歳)
下河南 中野ナヨ (95歳)
下尾田 長瀬藤三郎 (79歳)

おしあわせに

{ 中里 佳隆 (上尾田)
横井内 麻乃 (上新町)
安藤 忠 (小玉川)
中野 美由紀 (下河南)

●人の動き <平成19年2月28日現在/町民生活課調べ>

男 5,609人 (-1) / 女 5,778人 (-6)
合計 11,387人 (-7) / 世帯数 3,762 (-1)
※()は前月比
転入 12人 (25人) / 転出 13人 (22人)
出生 6人 (14人) / 死亡 12人 (34人)
※()は1月からの累計

(カレンダー中の開催場所については【 】で下記のとおり表示します)
体:町民体育館 環:農村環境改善センター 公:中央公民館 図:町立図書館
病:県立軽米病院 ふ:健康ふれあいセンター フ:雪谷川ダムフォレストパーク・軽米
ミ:ミレットパーク 歴:歴史民俗資料館 ハ:ハートフル・スポーツランド
運:町営運動場 ゲ:ゲートボール場 野:高校野球場



発行/岩手県軽米町 編集/総務課
(毎月第2水曜日発行)

〒028-6302 九戸郡軽米町大字軽米10-85
TEL0195-46-2111代 FAX0195-46-2335
URL http://www.town.karumai.iwate.jp/

ほっとひといき/編集後記

128年の歴史を閉じた米田小。この1年は閉校記念行事のあるたびに何度も取材に伺わせていただきました。閉校という一つの時代の区切りに立ち会い、取材することができたのはとても貴重な経験となりました。米田っ子は永遠に。

米田小の閉校取材に向かう途中、震度6強の能登半島地震が発生。夕方のニュースで知り驚きました。あまり予想されていなかった地域での大地震。いつ、どこで起こるか分からない自然災害の恐ろしさを実感。鎮静を願う(鶴飼)